# 校長室から応援メッセージ（6）

令和8年11月13日（金）

## 「普段から力を出しきる」

皆さん、こんにちは。11月も半ば、冬らしい寒さが感じられて参りました。いかがお過ごしでしょうか。共通テストまであと2か月余りとなりました。これからの過ごし方について思うことを述べてみたいと思います。結論を先に申し上げますと、「いつも通りに過ごしてくださいね」ということになります。

準備を重ねて、いざ本番を終わってみると、力を出しきれずに終わってしまった…、これまで準備してきたことが役立ったのだろうか、と感じることはよくあります。準備期間の長さに比べて本番は短い、ということもありますが、本番といえどいつもと違うことをしているのではなく、あくまで準備の延長上にあるものだからです。

大学入試でも本番は普段の勉強の延長上にあります。本番で力を出しきるためには普段から力を出しきって勉強しなければなりません。これからの2カ月余り、力を出しきって勉強してください。今の自分が知っていること、できることを総動員し、ほどよい緊張感の中で問題に取り組んでください。

一本の補助線を引くと局面がガラッと変わります。一見異なってみえても背景を探っていくと新たな視点が生まれます。この知的な営みの全てが受験勉強です。受験勉強は人生の困難な状況を打開しようとあれこれ奮闘する姿そのものです。合格してしまえば役に立たないなんてとんでもない。

私は大学受験は入学者選抜という大学側の事情は別にして、受験に向けてする勉強にこそ本来の目的がある、と考えています。その意味で本番は特別な日でも最終目標でもありません。準備期間から本番まで全ての日程を自分の持てる力を総動員して問題演習に取り組む、そういう心意気、勢いがほしいです。

人生には無数の選択・決断の場面があります。共通テストで選択肢の何番を選ぶか、どの大学を受験するか、友達とご飯を食べに出かけ、トンカツにするか焼き肉にするか、それも大切な選択・決断の場面です。勇気を出して選択し、潔く決断を下す、その覚悟を普段の姿にしてください。人生はいつも本番です。皆さんの健闘を祈ります。